

令和6年度 第1回ミライニ運営評価審議会 【概要】

日 時	令和6年9月26日（木）午後1時30分～3時30分
場 所	総合文化センター412号室
出席者	委員8名（欠席2名） 事務局 酒田市 社会教育課長ほか3名 ミライニ 所長ほか4名 酒田市 交流観光課1名 傍聴者2名
1 開 会	
2 課長あいさつ	
3 新任委員・職員紹介	
4 報告・協議事項	
(1) 令和5年度酒田駅前交流拠点施設ミライニの運営状況について	
①図書館運営について	
○委員	
	毎週イベントをしており、駅前の賑わいづくりに寄与していると思う。スタッフの皆様には、体調を崩さないように今年度も頑張ってもらいたい。
○委員	
	アンケートについて、以前も指摘したが「観光案内所がどこにあるかわからない」という意見があった。毎週イベントを開催しており、駅前を通る度に楽しんでいるが、酒田駅と協力して駅から人を呼び込むような仕組みができれば良いと思う。
	また、図書館の館内展示について、もう少し理系の展示を増やしたほうが良いと思う。雑誌スポンサーになっていただいている市内企業について見識を深めることができるし、工業科のある光陵高校もある。将来的に理系が不足する未来が見えており、港を活かしたモノづくりの基盤にもなる。
○事務局	
	酒田駅への掲示については、費用がかかるため断念した経過がある。今後も酒田駅側と協議・連携していきたい。
	理系の展示については、プログラミングや医療、夏休みの自由研究などを行って

いるが、文系の展示が多くなってしまっている。今後は理系の分野も勉強し、展示を増やしていきたい。先日、DIYやIT関係の「まんがで学ぶ」の展示を行ったところ、反響が大きく、学校の進学や市民生活レベルでニーズがあることがわかった。今年度、調べる学習コンクールという理系のイベントを開催したところ、子どもたちに大変人気だった。小学校でもプログラミング関係の授業を行っているとのことで、親子で読めるような理系関連の展示を進めていきたい。

○委員

観光案内所の場所については、有料であっても駅に掲示したほうが良いと思う。

○事務局

今後、交流観光課と検討していく。

○委員

ミライニはたくさん生徒が利用している。学校は限られた時間で閉まるため、電車や保護者が迎えに来るまでの時間をミライニで勉強している生徒も多い。保護者はミライニを安全な場所として認識しており、安心できる場所になっている。夜9時まで開館するのは大変な仕事だと思うが、仕事終わりの方も利用できるため感謝している。

学校図書館は予算が限られているため、購入が困難な本はミライニから学校貸出の制度を使って借りている。最近家庭科の授業の導入部分で絵本の読み聞かせを行っているが、学校図書館に絵本は少なく、絵本を借りることができて大変助かっている。

また、テーマの本39冊のうちすべての本が中央図書館または分館に所蔵されていた。スタッフの選書の素晴らしさを感じた。

酒田東高校はスーパーサイエンスハイスクールに指定されていることもありプログラミングなど理系分野の本を希望する生徒も多い。学校図書館ではリクエストを受けながら徐々に理系分野の本を増やしている。理化学系の選書集を参考に理系分野のコーナーを設けている。選書集が参考になればと思う。

○委員

これまで1,2度ミライニに立ち寄ったが、明るく入りやすい雰囲気ですてきな施設だと感じている。アンケートにあるように、図書館の魅力として25人の方が「スタッフの対応」を挙げており、スタッフの努力が見られる。

前回の会議録のうち、図書館利用が少ない働き世代への発信が課題なため、園や学童に情報を発信することを検討するとあるが、どのように対応したか？

○事務局

絵本作家の講演会の開催や子ども向けチラシを保育園や子育て支援センター等に配布した。実際に応募して下さった方もおり、今後も継続していきたいと考えている。

#### ○委員

いつも様々なイベントを開催しており、私もよく足を運んでいる。先日のいろいろな展はとても感動した。来館した際、絵本を借りに来た親子が展示の前で足を止めて見ており、図書館も含めてミライニを知り、利用する良いきっかけになっていると思う。例年、園児を連れてひらた図書センターに行っているが、今年はぜひミライニに行きたいと考えている。

春に絵本の紹介チラシを園宛にいただき、コピーして保護者に配布した。保護者からは、絵本を買おうとしてもどれを買ってよいかわからないため、おすすめの本を紹介してもらえるとありがたいとの声が届いている。春以降、絵本の紹介チラシの配布予定はあるか？

#### ○事務局

夏号の分はすでに市内保育園・幼稚園に送付済。

#### ○委員

これまで3年ほどミライニで講師を務め、参加者の皆さんの熱心さと、もっとレベルを上げたいという思いを肌で感じた。読み聞かせ、司書の方の研修など今後とも充実した講座を開いてもらえるとありがたい。

団体貸出の状況について、病院やコミセンなど様々な団体があるが、他にどのような団体の利用があるか？他の市町村だと、子ども食堂や学童保育所に対しても貸出している。今後ミライニを中心に酒田市が読書のまちになるために、団体貸出を要望に応じて広げて行ってほしい。

学校への巡回文庫について、各校で探究学習に力を入れている。学校に対して巡回文庫の制度のPRを行い、積極的に活用するよう啓発して欲しい。鶴岡市でも図書館から学校へPR活動をしているが、学校によって温度差がある。啓発を念頭に置いた推進活動が必要である。

家読について、酒田市は読書手帳の工夫など一生懸命取り組んでおり、嬉しく思う。本のリストを年1回発行しているが、どのような効果が表れているか？リストの活用も含め来年度までまとめてほしい。

自由研究コンクールも効果が出ているようで素晴らしいと思う。

令和5年3月に国の第五次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が示された。その中で強調されているのは、企画段階から子どもの知恵を借りるとい

うこと。学校も図書館も、子どもの発想を取り入れたイベントを計画すれば、様々な年代の子ども達が図書館にもっと魅力を感じ、足を運び、本の世界に親しんでくれるのではないかと期待している。

#### ○事務局

巡回文庫について、酒田市内で活動している団体であれば登録が可能であり、市内の読み聞かせ団体やボランティア団体など学校以外の方も活用している。市外からの問い合わせについてはお断りしている。今後、本制度について図書館ホームページやチラシで周知していきたい。

家読のリストについて、小中学校は全校、保育園はアンケートで要望があったところに春先に配布している。今後、保育園も全園に送ろうかと考えている。学校図書専門員の方にもお渡しし、展示などに活用していただきたい旨をお話している。

子どもの考えを取り入れた企画について、子どもの意見を聞く機会を設けていきたいと思う。

#### ○委員

複合施設の良さを生かして様々なイベントを実施しており、多くの方の来館に結びついていると思う。酒田駅前にミライニができてから読書をするようになった、色々な分野の本を読むようになったというアンケートの回答について、大変嬉しく思う。

利用者の状況を見ると令和元年度の貸出冊数がピークになっている。令和5年度は貸出冊数がかなり伸びているように思ったが、令和元年度を越えられなかった要因について伺いたい。図書館が新館に移転し滞在型の図書館になったため、館外貸出で本を借りる方よりも貸出手続きをせず館内で読む方が多くなったからという分析で良いか？

学校巡回文庫において教科書の單元ごとに紹介されている本を基準に選書している点について、学校側の視点に立った良い事業だと思うが、学校から利用されておらず非常に残念である。学校の方にさらに働きかけをして利用を促進してもらいたい。

#### ○事務局

館外貸出が伸びていない点について、現状では貸出者数は伸びている。おそらく旧館では本を返す際に10冊借り、貸出期限の2週間後に返すというサイクルであった。しかし、ミライニに移転してからは気軽に来られるようになり、2週間サイクルではなく、1冊ずつ借りて読み終わったらミライニに来て返すようになったのではないかと考えている。そのため、1人当たりの貸出冊数は減少し、貸出人数が増

えたものではないかと予想している。また、スマートフォンやネット上の動画配信サービスの普及などの要因も考えられる。

学校巡回文庫について、年に1回、学校図書専門員へPR活動を行っている。さらに先生に届くような工夫を行い、活用いただけるよう進めていきたい。

## ②観光案内所運営について

### ○委員

まちナビカードを作成している庄内観光コンベンション協会の事務局長を務めており、同カードの人気の高いとこのことで大変励みになる。利用者の声なども今後聞かせていただきたい。

観光案内所と図書館の相乗効果（住所を問わず観光客も図書館の利用者登録が可能、庄内・山形地域について本で情報を調べて観光プランを立てられる、ホテル利用者が図書館の本を手続きなく部屋で読むことができる）があり、駅前の立地を生かした運営をしているとこのことで、先ほど話題となった酒田駅からミライニへの誘導がうまくいくとなお良いと思う。

### ○委員

本を読むためにホテルに泊まる人もいるという話を聞いたことがある。ミライニは朝から夜遅くまで空いており、コーヒーなどの飲料も飲める図書館であるため、この特徴をもっと強くアピールした方が良いと思う。

### ○委員

外国の方への対応について、アプリを使用しているとのことだが、外国語対応する方はいないのか？

### ○事務局

英語を話せるスタッフは何人かいるが、対応時に必ずいるとは限らないため、いない際は翻訳アプリや知っている単語で案内している。緊急時や専門的な内容など難しい会話が必要な際は、提携している近隣の英語塾に協力を依頼する。パンフレットには英語のほか韓国語や中国語の記載があり、大半はパンフレットでご案内することで理解していただいている。

## ③管理運営事業について

質疑等なし。

## (2) 令和6年度事業計画の実施状況について

質疑等なし。

(3) 今後の事業予定について

質疑等なし。

(4) その他

○委員

展示や本を中央図書館及び分館間で巡回してはどうか？分館に行く動線を考えると、その近くの観光施設も巡ってもらえると考える。

選書している人の背景・気配が見えるとすごく良い。最近の本屋でこのような取り組みをしているところがある。

多くの利用者に分館に足を運んでもらうため、以上のような取り組みに期待したい。

○委員

中央図書館、分館問わず、図書館に行くには必ずどこかの道を通るわけであり、観光施設も含めて利用者が市内を巡回するような動線作りができれば良いと思う。また、人の気配を感じるというのは「ぬくもり」を感じるということ。動線作りと合わせてぬくもりのある案内をお願いしたい。

6 閉 会

以上